

感染症発生状況

平成30年8月15日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年8月6日（月）～8月10日（金）の定点における発生状況をお知らせします。
定点23園の対象人数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 354名

1日あたりの延べ欠席者数 73名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数83名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

症状では **熱（169名）**、咳・鼻水（47名）、下痢・腹痛（28名）、嘔気・嘔吐（10名）

疾病ごと **気管支炎・肺炎（18名）**、胃腸炎（10名）、おたふくかぜ（7名）、溶連菌感染症（6名）

夏の感染症である手足口病、とびひ、リンゴ病がわずかながらあります。ウイルス性のかぜ症状、胃腸炎に注意です。

細菌性下痢症が心配なシーズンです。調理の際はしっかり加熱を行うことが大切です。

【症状別の発生状況】

気管支炎・肺炎 玉山，厨川，盛南，河南地域で減少。河北地域で増加しました。

胃腸炎 玉山，厨川，盛南地域で減少。河北地域で増加しました。

おたふくかぜ 河北地域で増加しました。

溶連菌感染症 厨川地域で減少。都南地域で増加しました。

【県の状況（7/30～8/5）】

ヘルパンギーナはさらに増加し、大船渡、県央及び久慈地区で報告数が多くなっています。発熱と口の中に現れる水疱性発疹を主症状とするウイルス感染症で、岩手県においては、例年9月上旬まで報告数の多い状況が続くので注意が必要です。予防には、患者との濃厚接触を避けること、手洗いやうがいを十分に行うことが重要です。

RSウイルス感染症は、中部及び奥州地区で報告数が多くなっています。咳やくしゃみ、ウイルスが付着した手指などから感染するので、手洗いや咳エチケットをはじめとした基本的な予防対策が重要です。

伝染性紅斑は、中部地区で6月下旬から報告数が多い状況が続いているので、引き続き注意が必要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】